広報かじき

No.295
昭和54年 9月号

発行/加治木町
編集/総務課
印刷/㈲吉屋印刷

ボラ釣りでにぎわう〝加治木港〟

スポーツの秋・読書の秋・そして食欲の秋「魚のおいしい秋」現在加治木港は、かっこうの釣場となり連日親子連れなど釣人でにぎわっております。

◆人口　22,245（＋29）男10,631（＋6）女11,614（＋23）世帯数 7,227（＋3）54.8.1現在（　）前月比

国保シリーズ ②

かかりつけのお医者さんをもっていますか？

①〈誤った受診はやめましょう〉

あなたは病院を転々と渡り歩いたり、むやみに薬を求めたりしているようなことはありませんか。それは誤った受診のしかたですし、そのうえみんなの国保税が無駄に使われることになります。

また忙しいお医者さん方のことも考えて夜間・休日の診療や往診も、急患の場合以外はできるだけ避けるようにしましょう。

②〈かかりつけのお医者さんをもちましょう〉

一家に一人ホームドクターを。あなたの健康をよく知っているお医者さんは病気の時はもちろん、日頃の健康の支えにもなってくれます。行き届いた健康管理は、あなた、医師、そして国保の三人四脚で行われるのが望ましいのです。

○正しい受診で明日への健康

○正しい受診　笑顔で迎えるお医者さん

敬老の日によせて

町長　東　國男

残暑もようやくうすらいで、朝夕涼風がわたる秋になりました。九月十五日、敬老の日にあたり、人生の永い尊い経験をつまれたお年寄りに、心から感謝とお祝いを申し上げます。

本町には、六十五歳以上のかたが二、四七五人おられ、加治木の人口の十一パーセント、九人に一人がお年寄りということになります。そのうち八十歳以上のかたが四三五人、九十歳以上のかたが二十八人（男四、女二十四）で、最高は、上木田の扇蘭カ子チヨさんの九十八歳です。

十五日の「敬老の日」には、全国各地でこの日をお祝いするためいろいろな行事が計画されているようですが、町としても当日のお祝いのしるしに九月十二日に八十歳以上のかたがたに敬老年金と、ねたきり老人介護人のかたに報奨金を支給します。

また、金婚式二十一組のかたには、記念品を贈呈いたします。

十四日には、九十歳以上の方々の家庭を町長や長寿会、社協、婦人会代表が、知事代理とともに慰問申し上げます。

さて、世の中はめまぐるしく変わって行きますが、長生きは人間の最高の幸福です。どうか健康には細心の注意をしていただき、一年でも一日でも長生きしていただくよう、お年寄り自身だけでなく、はたからも気をつけてあげましょう。

ただ体の健康だけでなく、精神的な面の健康も大切です。

お年寄りのみなさん、いつまでもお元気でお過しください。

各地域で現地検討会

農業生産一〇〇人会

加治木町の農業振興をはかるため結成された農業生産一〇〇人会（蔵満洋一会長）では、各地域ごとに農業振興の方策などについて検討をするため、八月二十一日から二十四日まで小山田、西別府、木田、反土地域で現地検討会を開催しました。

また町の農業振興地域整備計画についても説明をし、その地域の農業振興についても熱心に検討がなされました。その主なものは

1、地域に合った農業生産基盤の整備を早急に実施すべきである。

①区画整理

②農道の整備（改良、舗装）

③用排水路の整備

④農道橋の新設、改良

⑤畑地かんがい等

2、農業の近代化施設の整備及び省力化のため機械施設、体系の推進など。

今後も、より一層の研修をつづけ、農業振興をはかることを申し合わせました。

農村振興運動特別指導会　開催される

豊かでぬくもりに満ちた農村をつくるため、農村振興運動が五十二年度から進められています。町でも部落推進員、協力班を基に、拠点集落として、市来原、永原、西浦、楠原を定め、その地域農業の推進母体としています。

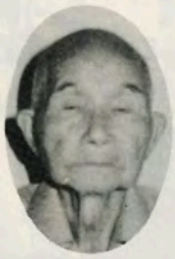
この特別指導会が、県特別指導班（特別助言指導者）、県農業信用基金協会種子田専務、農村振興対策室上入来室長、農林事務所など、関係機関の職員十名によって、町の推進状況の調査、楠原拠点集落のリーダー数名と現地で検討会をし、部落民全員と意見交換及び助言指導がなされた。

当地区は十三塚原畑総事業を五十二年度から実施し、五十四年度で区画整理事業は完了しますが、畑地かんがいは五十九年度の見込みで、それにむけて営農の体型を検討します。また集落内の環境整備についても部落内で話し合い実施していくことをお互いに確認し合いました。

〝元気ごわんど〟

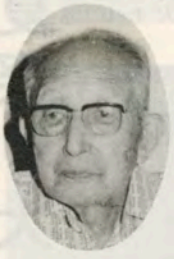
町内90歳以上28人の 顔 顔 顔

小陣・福元ケサギク（九五）


下嶽・前島半左エ門（九四）

井手向・花牟礼シヨミツ（九四）

隈原上・隈原ナツ（九三）


江湖・金澤清次（九三）

下浜・川添ヨシ（九三）

東塩入・村下キク（九二）

田中・櫨山アカ（九二）

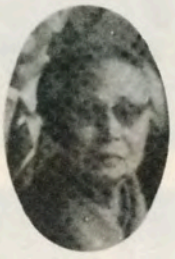
新中・堀之内ケサミツ（九二）

萩原・池田ヨシ（九二）

西諏訪・川畑クマ（九二）

港町・森スマ（九二）

岩原西・森山クミ（九二）


江湖・佐藤キワ（九二）

新町・篠原伊右エ門（九二）

東諏訪・白坂キクノ（九二）

天神・中島ハル（九〇）

須崎・郡山クマ（九〇）

中福良後・豊村精助（九〇）

菖蒲谷下・上村ユキ（九〇）

茶碗屋・川原ワイ（九〇）

里ノ上・上小牧モト（九〇）

望岳園・鮫島スマ（九〇）

望岳園・佐藤ツマ（九〇）

望岳園・下永瀬ハイキク（九〇）

上木田・扇薗カ子チヨ（九八）

萩原・渡辺キク（九五）

西諏訪・矢野エイ（九五）

第十三回　夏祭り大会

にぎわった花火と歌謡ショー

第十三回町民夏祭りは、町商工会主催で八月三・四日の両日にわたり、加治木港を主会場に花火大会やパレード、歌謡ショーが行われ三万五千人の観衆でにぎわいました。

三日の前夜祭では、日本舞踊のあと火の競演、豪華な花火が真夏の夜空いっぱいに広がり、海面では水中花火が咲き誇る中、会場ではチビッコ等のお楽しみ夜店がいっぱい立ち並び親子連れなどでにぎわいました。また舞台ではテレビ、ラジオでおなじみの瀬川洋一郎、志摩れい子司会によるカラオケ大会が行われ、十四人のアマチュアがのどをきそいあいました。

四日は、恒例のパレード踊り隊が、柁城小学校を午後五時に出発、港までの目抜き通りを県警のブラスバンドを先頭に錦江小、柁城小の鼓笛隊、つづいて踊り隊が町長、商工会長を先頭に二十七団体一千六百人が、ハンヤ節やオハラ節にあわせ柁城小から新道、端山、蒲生田通りから会場の港までパレード、沿道に集まった観衆の目を楽しませた。夜にはいり前夜祭と同じく瀬川洋一郎、志摩れい子両アナウンサーの司会で、県警ブラスバンドによる演奏会のあとビールの王様コンテストや町内の各流派による日本舞踊などがあり、祭り最後の呼びもの花のステージ歌謡ショーでは、大川栄策、麻生よう子が登場「めんない千鳥」や「逃避行」外数曲を舞台いっぱいに披露し、集まった観衆を感動させました。

こうして二日間にわたった第十三回夏祭り大会は、町商工会をはじめ関係各位の協力によって盛大の内に幕となりました。

息の合ったパレード　蒲生田通り

大川栄策（右）と麻生よう子

消防法記念行事　消防団　ソフト大会

消防法施行記念日の八月一日、町消防団（竹内親男団長、団員百六十人）では、加治木女子高で、支部大会出場予選を兼ねた各分団対抗のソフトボール大会を行い、団員の士気を高めた。

大会にさきだち昭和五十三年度の消防定例表彰の伝達が行われ、消防庁長官表彰「永年勤続功労章」の郡山利春副団長ら十五人に、町長から表彰状とメタルが伝達された。また錦江と中野分団の新入団員二人に団長から辞令が交付された。

試合は、二パートに分かれ熱戦が展開され、なかには29対3というケタはずれの試合もあり、選手審判、役員ともに汗だくの大会となった。結果は次のとおり

優勝＝中央分団②西別府分団③錦江・中野分団

助役による始球式
期待どおりボールでした。

竜門の会

花蘇鉄屋久の高嶺の雲厚し　井之上透山

対岸のうつる水面や今朝の秋　上野　光

飾り羽根群立つ汗の道太鼓　鶴田　耕

野あやめや海より暮れて帰路の牛　三浦　ゆう

もの言へば砂が崩るる蟻地獄　横山　江南

青桐の花すれずれに月のぼる　宮脇　思川

松根油採りし傷痕敗戦忌　川崎　黒兎

癒えたしや銀河明るき時きざむ　松永　愛子

久濶を謝するもありて盆法事　高木　正男

雲海を踏まえて叫ぶ山の唄　加藤　白柳

花火大会栄華の夢の覚むるに似　曽木　柳田

蜻蛉の複眼欲しき苦吟かな　田代　俊泉

散り敷けるデイゴの花の重き掃く　恒吉　斗南

スポーツ

加治木工高
弓道で日本一

八月三・四日、奈良県奈良市営弓道場で開かれた全国高等学校総合体育大会、弓道団体競技の部に本県を代表して出場した加治木工業高校は、昨年の優勝校江津工高を準々決勝で下し、決勝では福江高（愛知県）と15対15となり、競射でよく頑張り4対3と破り初優勝しました。当工高の弓道部創設は五十年でわずか四年目にして日本一となったものです。

川越監督は「全員よく頑張ってくれました。練習も試合のつもりでしているので一人の乱れもなく精神的な勝利です。」と、とてもうれしそうでした。

監督は川越喜兵衛、選手は西山俊郎（三年）桑幡道長（三年）竹内照二（三年）東郷英成（三年）渋谷広明（三年）黒江宏明（二年）

全国制覇した加工の選手

西姶良地区
防犯少年
剣道大会

青少年の健全育成と少年の非行防止を目的とした、西姶良地区防犯少年剣道大会が、同協会連合主催で、去る八月十一日、加治木高校で開催されました。

参加者は、加治木署管内加治木姶良、蒲生、溝辺から小学生を対象に二十チーム、約二〇〇人が出場。チビッコ剣士たちは、親たちの声援のもと「メーン、ドウー」と日ごろの練習の成果を発揮しました。また全勝賞など特別賞や、金銀、銅のメタル、そして参加賞等が各選手に渡され、チビッコ剣士はもとより、お母さんたちから、将来を担う子どもたちの健全育成によい大会だと大変よろこばれていました。

成績は次のとおりです。

㊇警精館A②建昌小C③建昌小A

「メーン・ドウ」とチビッコ剣士

チビッコ
ソフト大会
優勝は
萩原チーム

町内チビッコソフトボール大会が、八月十九日、二十一日に、町商工青年部（美坂正幸部長）主催で、炎天下のもと町営運動場に十七チームが参加して熱戦を展開。決勝では、萩原が岩原西を15―4で破り優勝しました。

十九日の当日は、あいにく朝から雨模様で、昼前には本降りとなり、予選リーグで中止。このため二十一日に延期し決勝トーナメントが行われた。

チームは、小学四年から六年生まで各三人づつの編成で、選手たちは、焼きつくような太陽の下で元気いっぱいにプレーしました。

成績は次のとおりです。

㊇萩原　②岩原西　③諏訪

みごとなフォーム「ホームランか？」

小・中学校
水泳記録会
新記録が十六個

昭和五十四年度町小中学校水泳記録会は、七月三十一日九時から町営プールで行われ、子どもたちは、水しぶきをあげ元気よく記録に挑戦しました。

この日は町内小中学校から四四三人の子どもたちが参加し、お母さんたちの応援のもと、それぞれの種目に挑戦。十六個の新記録と二個のタイ記録が生れました。

新記録は次のとおりです。

▽中女二〇〇㍍メドレー
宮内龍子、小野優子、茶円貴美子、山崎真実子（加）二分四二・一秒

▽小四以下二五㍍自
大番哲郎（柁）一九秒、下小牧美保（錦）一八・六秒、満尾真由美（錦）一九秒

▽中女一〇〇㍍自
山崎真実子（加）一分二一・七秒

▽小六男五〇㍍自
川畑拓也（錦）三四・六秒

▽小四以下男二五㍍平
黒田優嗣（錦）二四・九秒、山下忠昭（錦）二六・四秒、前杉竜志（錦）二六・四秒

▽中男女一〇〇㍍背泳
山崎真実子（加）一分三三秒、長井貴美代（加）一分四二・二秒

▽小五、六女五〇㍍バタ
猪俣尚子（柁）四六・五秒

▽小六男女一〇〇㍍自
徳永浩子（錦）一分三五・八秒

▽中男女五〇㍍平
茶円朋子（加）四二・三秒

▽小男二〇〇㍍リレー
錦江A　二分四八・六秒

▽中男女二〇〇㍍リレー
加治木A　二分三三・三秒

一斉にスタート「ドボーン」

婦人会だより

みんなの力で結核予防を―

複十字シール運動始まる

このしるしを見た事がありますか、何のしるしかご存知ですか？

複十字と呼んでいますが、万国共通の結核予防の旗じるしです。

去る七月レントゲン検診を受けられたと思いますが、レントゲン車にもこのしるしがあったと思います。

私たち婦人会は結核予防婦人会として結核0を目指して活動しているわけですが、不治の病として恐れられていた結核も、衛生思想の普及や、医学の進歩でその数も少なくなり死亡率もぐんとへってきました。大変うれしい事ですが反面、結核を軽く考える向きも見えてきました。結核は伝染病です今対策の手をゆるめると再び結核は猛威をふるう事でしょう。自分だけは安全だと思っていても、みんなが安全でなくては自分の本当の安全はないのです。

複十字シール運動と言うのは、民衆から生れた国際的結核予防運動です。ひとりひとりの協力によって結核予防のための資金を生み出すと共に、結核予防の関心の輪を広げ、健康で明るい社会づくりを進めるための運動です。

これからの生活を考える

電気、ガス、水、と考えてきましたが今回は、「修理・再利用」と言う事について考えてみたいと思います。

ちょっとした故障なのに捨てられた電気製品。まだまだ使えるのに放り出された家具。修理し再生すればいくらでも使える粗大ゴミの量はふえるばかりです。

○修理した方が得か、買いかえた方が得かよく考えましょう。

○新製品に目がうつり、つい買い替えたくなります。ご用心。

○みんなで交換会を開きましょう。婦人会、PTA、自治会、グループ等で計画してみましょう。

解散総選挙を目前にして

サルは木から落ちてもサルだが政治家は選挙に落ちるとただの人になると（故大野伴睦話）まったくそのとおりです。もはや日本列島は、いたるところで激しい選挙戦が展開されております。総選挙は、今回で実政治上三十五回目、戦後は十四回で80年代をうらなう大事な選挙です。

ご案内の通り世界中エネルギー不足と新聞紙上を賑わしております。今後の経済如何なりますことやら？　選挙は民主政治の基礎であります。これが正しく公平に行われ立派な政治家が選出され、国政に参加し、私たち国民が幸福な生活ができるよう願いたいものです。今まで国や地方選挙が度々行われましたが、残念ながら、違反記事で新聞紙上を賑わしております。

また棄権することも恥です。選挙は私たち国民に与えられた権利義務であります。棄権して政党政治を批判する資格はありません。幸い我が町からは、違反事件はなくありがたいことです。選挙に対する有権者のご理解の賜ものと感謝申し上げます。しかし、一歩投票率の低いのが気がかりです。今度こそ、皆さんこぞって投票に参加願いたいものです。投票当日都合の悪い方は、告示があれば不在投票できます。くわしいことはいずれ「チラシ」を配布いたします。

委員会といたしましては、町の明るい選挙推進委員会と協力し、以上のとおりの事につきまして、日夜努力いたしておりますのでご協力方お願い申し上げます。

加治木町選挙管理委員会
委員長　大脇篤彦

全国青少年剣道練成大会で大活躍

加治木剣道スポーツ少年団

全国大会に出場した選手たち

京都市岡崎武徳殿で八月十二日行われた全国青少年剣道練成大会に出場した本町加治木剣道スポーツ少年団A・B両チーム、十四人は、団体戦で準優勝するなど輝かしい成績をおさめました。

この大会には、全国の小・中・高校から二四〇チームが出場しましたが、本町から出場したBチームは、次々と勝ち進み決勝では、接戦を勝ち抜いてきた富山剣道スポーツ少年団と対戦、熱戦の末、おしくも破れ準優勝に終りました

また、Aチームも頑張り第三位に、それに個人賞として敢闘賞に福重直行（柁城小）努力賞に松下友多（錦江小）が選ばれ、全国に加治木の名をあげました。

指導者（監督）は、剣道範士八段、馬場忠彦さん(六九)でチビッコ剣士たちは、毎日特訓に励んでいます。

心配ごと相談

心配ごとでなやんでおられる方は気軽に相談してください。

毎週木躍日午前中
町福祉センターで

炎天下勇壮に〝太鼓踊り〟

太鼓とカネの音に合わせて勇壮にホタ振り

伝統行事の一つ恒例の本町太鼓踊りは、ことしもお盆明けの八月十六日、カネと太鼓で朝早くから一日中にぎわいました。

四大字、小山田、木田、反土、西別府からくり出した幼児からお年寄りまでの約百五十人の踊り隊が午前八時の花火を合図に春日神社境内で次々に奉納したあと、午前十時から義弘公館跡前（現柁城小前）の仮屋馬場で、陣羽織に草履ばきのカネ打ちとホタ振り、太鼓打ちが一体となって焼けつくような太陽の下で「きもいり」の差し出すヒシャクで水を飲み、勇壮に打ち上げ（道踊り）を披露。お盆帰りの帰省客や、夏休みの子どもたちを楽しませました。

午後からは、町内の目抜き通りを汗だくでパレード、沿道に集った見物人を満喫させました。

本太鼓踊りにご協力、ご援助くださったみなさまに対し厚くお礼申し上げます。

和気あいあいの中で　親子栄養教室

親子で楽しい調理実習

サンライフ運動（県民総ぐるみ長生き幸せ運動）の一環事業としての親子栄養教室が夏休み期間中町内十会場で開設されました。

内容は発育期の成長と栄養、六つの基礎食品、栄養素のはたらきについての講義と簡単な調理実習三品（郷土料理を含めて）など約四時間にわたり親子一緒に熱心に学習しました。試食の後は話し合いの時間を設け、その後食事診断として各家庭の食事をふり返って採点してみました。その結果好みの食事に片寄っている家庭があった。

体の健康は先づ食事から――。

私達の体の血液は一〇〇日～一二〇日で生れ変っているのです。栄養の知識はあってもグループで和気あいあいの中で実習することにより各家庭でも実践されると思います。発育盛りの子供さんが身心共にすばらしい成長をされますように来年も又、近所誘いあって参加していただきたいと思います

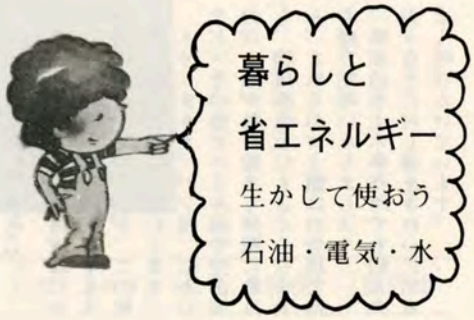
この運動にご協力くださいました学校の先生方、町育成会の役員の皆さまほんとうにありがとうございました。

文化財めぐり 38

渋谷兵庫助墓

小山田・茶碗屋

天正十一年（一五八三）島津日新公が、加治木肝付家征討のとき真幸院城主北原兼孝が島津の援軍として出陣したが、肝付勢のため大敗し、戦死七十余名を出した。その二基の墓の内、大は兵庫助、小は部下十六名を埋めたもので、小山田の松尾坂にあると柁城名勝誌にあるが、十六名を埋めた墓は茶碗屋部落内の山林内にあったが数年前土建業のため、くずれてなくなってしまった。ここより北二〇〇メートルの山林内に石塔があって梵字が刻んである。これが兵庫助の墓で、現在は、同部落入口の左側の空地に移転してある。



おしらせ

第21回 町美術展

11月9日から11日まで

第二十一回町美術展は、十一月九日から十一日までの三日間、町福祉センターで催します。

町民の皆さんから多くの作品が出品されますよう、お待ちしています。特に一般の方々の作品は無審査として、出品された作品は全部展示いたします。

一般の作品搬入は十一月八日町福祉センターの方に各自搬入をお願いします。

小・中・高校については、例年どおり審査を行って展示いたします。

うぶ声

七月二十一日から八月二十日受付分

出生者　保護者　部落

木佐貫智恵　良一　吉原
上荒磯智子　任　東諏訪
小川大輔　正昭　反土黒川
常盤　実　弘身　岩原西
内村真也　重義　永原
恒吉秀和　清治　浜村
西村　悟　豊　日木山黒川
林　麻衣子　俊一　萩原
長谷匡三　彰　西塩入下
神園恵美　昭紀　春日団地
弓削奈津紀　準治　西塩入下
山之口美香　武利　西塩入上
大内山英樹　和英　於里
鳥丸裕樹　輝志　春日団地
中迫優朋　勲　春日団地
森元将紀　正純　東塩入
石原　守　忍　西諏訪
冨松久美子　康浩　下新道
染川航晴　勝美　蔵王団地
瀬戸口和智　一己　岩原西
上吹越奈緒　岩夫　西江口団地
大山　仁　正行　市野々
郡山尚子　和人　須崎
上野智史　博　楠園
川畑英聡　慶光　竹下
原園秀幸　義章　空港団地
竹脇裕介　賢二　港町
南谷崇広　曜一　蔵王団地
英　美津子　良治　高井田
水谷　誠　正信　春日団地

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円
港　町　坂井　正親（隆1）
一万円
口ノ町　綾田サチ子（末吉ヨシ86）
五万円
里ノ下　大坪　治正（富美86）
三万円
下東木　渋谷　ミネ（栄吉73）
一万円
港　町　入部　正義（アカ89）
三万円
萩　原　嶺崎トツ子（辰志52）
二万円
下　浜　郷田　秀利（タカ83）
三万円
柳　田　野田　優（アオイ76）
二万円
口ノ町　川畑チヨ子（喜八郎74）
五万円
西塩入下蔵満　畩一（和子52）
一万円
高井田　緒方マツエ（和幸48）
一万円
向江町　猪八重広實（勝實35）
三万円
岩原西　早崎久子（當52）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円
柳　田　野田　優（アオイ76）

▽…八月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

今月は国保税三期の納期です

貴重な文化財を守ろう

保護協力会が発足

一般町民の参加により「祖先が残した貴重な文化財を理解し保存していこう。」と、松元忠富さんらが広く町民に呼びかけていた、町文化財保護協力会の結成総会が、八月十七日、町福祉センターで開催されました。

総会では、発会の趣旨、経過等の説明、会則、予算、事業計画などを話し合ったあと、県教育委員会代表、町長の祝辞につづいて、県文化課向山先生の講演があり、その中で全国にも他に例のない住民の自主的文化活動で、さすがに加治木町ならでは、と称賛されました。

本会では、事務局を町教育委員会社会教育課内におき、趣旨に賛同される多くの町民の入会を期待しています。

役員は次の方々です。

会長　新納教義、副会長　松元忠富、壱岐正治、外理事七名。

なお次のように宣言がなされた

宣　言

加治木町は、古い時代から文化の中心地として発展してきており、数多くの文化財が残されている。

これらは、わたしどもの祖先が治乱興亡の長い歴史の中で、その英治と努力を結集して織りなしてきた誇るべき文化遺産である。

わたしども加治木町文化財保護協力会員は、祖先が残した貴重な文化財についての理解を深め、それらの適正な保護、活用のために積極的な社会協力に努めるとともに、祖先の精神を受け継いで、文化の進展のために今後いっそうの努力を誓うものである。

加治木町文化財保護協力会

みんなの加治木

港をきれいにしましょう!!

現在、加治木港岸壁付近は、かっこうの釣場となり、釣をする人々でにぎわっていますが、この釣人や一般の方々にお願いします。

エサ（まきえ、パン粉、ごかいなど）その他ビニール袋や空缶等のゴミ類が毎日数多く岸壁に散乱し、環境衛生上にもよくありません。これらのゴミ類は自分達で持ち帰り処理いたしましょう。

県加治木土木事務所でも釣人の方々などに対し港をきれいにするよう呼びかけています。